十月の暗唱課題

深谷市立本郷小学校（　　）

草枕

夏目漱石

山路を登りながら、こう考えた。
智に働けば角が立つ。
情に掉さされば流される。
意地を通せば窮屈だ。
とかくに人の世は住みにくい。

（意味）

ひとりの画家が山道をのぼりながら、こう考えた。「頭でっかちだと、人とぶつかる。感情の流れに乗りすぎると、思わぬことになってしまう。意地をはっていると、動きがとれなくなる。世の中でうまくやっていくのは、むずかしいものだなあ」